



name
木村敬一

sports
競泳

team
東京ガス



birthday **1990/9/11**
blood type **O**
height **171cm**
birthplace **SHIGA**

きむら・けいいち / 2歳の時に病気で視力を失う。10歳で水泳を始め、高3で北京パラリンピック出場。続くロンドンでは2つのメダルを獲得し、リオでは50m自由形と100mバタフライで銀、100m平泳ぎと100m自由形で銅メダルを獲得。

東京開催じゃなかったら、水泳をやめていたかも…。

3度目の出場となったリオパラリンピックでは、銀・銅合わせて4つのメダルを獲得した全盲スイマー・木村敬一選手。前回のロンドンでは銀メダルを獲得し、「リオでは絶対に金メダル」と自らを鼓舞。ハードなトレーニングを積んで臨んだ。

「金メダルを取れなかった悔しい思いは当然あるし、これは永遠に残るものだと思います。と同時に、僕のレースを見て何か感じてくれた人がいるという話を聞くと、4つのメダルを取った自分を誇ってもいいのかなと思えるようになりました」

プールに入水するのは1日2時間、多いときには6km以上泳ぐことも。過酷な練習や周囲の期待から逃げ出したくなることはないのだろうか。

「水泳をやめたいと、しょっちゅう思いますよ(笑)。ただ、水泳は自分を表現してくれるものであり、日本代表の重責も誰もが味わえるものではないので、幸せなことかなって」

次のパラリンピックは東京。自国開催も競技を続ける大きな理由に。「次が東京じゃなかったらやめていたかもしれない(笑)。そう思うぐらい、東京開催の意味は大きいですね」



オフは友人と会って息抜き。「会話の中身は特になく、ほとんど女の子の話(笑)」と、20代男子らしい回答。好きな女性のタイプは穏やかで家庭的な人。「手料理をふるまってもらえるなら、肉じゃがとか煮物が嬉しい」と話し、「肉じゃがってベタですなえ」と自らツッコむ。ユーモアセンス抜群の木村選手は、ツイッターでのつぶやきもかなりユニーク。

「目が見えない中で生活を送っていると、普通の人だったら何とも思わないことが引掛かるのかも。ただ、最近は周囲からも面白いと言われるのでちょっとプレッシャーです」

ツイッターに何度か登場しているのが女優の広瀬すずちゃん。

「大ファンで。リオの前に応援コメントをもらったのですが、モチベーションは相当アップしました(笑)」

そう言って顔を赤らめる微笑ましい反応に母性本能くすぐられまくり。



My Favorite I love あんこ♡

「和菓子に目がなくて。とくに羊羹ともなかが好きで、〈とらや〉の羊羹は大のお気に入り。ここで紹介したら、プレゼント増えるかなあ? (笑)」



Scoop 気になるつぶやきPick Up!

1 大切にしている言葉。

「人生は1度きり」という言葉を胸に、1日1日を一生懸命生きる。これをモットーに、日々の練習に励んでいます」

2 ウェイト強化が必須。

木村選手のパワフルな泳ぎは強靱な肉体があってこそ。「週3回、ジムへ。ウェイトトレーニングは達成感があって楽しいです」

3 大学院で教育学を学ぶ。

日本大学卒業後は同大の大学院へ。「引退後を考えて、自分の可能性を広げるために勉強しておくことも必要かなと思って」

4 和菓子好きのルーツは?

「小さい頃はあんこが嫌いだったのですが、有名和菓子店の〈たねや〉の栗餡頭を食べてからあんこにドハマリ! (笑)」